

# チェレステ色のパラディーズ シナリオ イルカ少女と珊瑚の海

by なななな

人数 3～5人  
 フレイ時間 3～5時間  
 テキセなら 7～9時間  
 リミット 3日目の夜セグメント  
 難易度 普通

・舞台 リゾートエリア  
 ・雰囲気 イルカ、環境問題  
 シリアス ○○○★○ コメディ  
 リアル志向 ○○★○○ ファンタジー  
 冒険活劇 ★○○○○ 心理とドラマ

## このシナリオについて

### テーマ

比較的考えることが少ない、リゾートエリアでリゾート旅行をするのがメインのシナリオです。環境保護と密猟をテーマにしているため、PCたちが敵をしばく理由付けが簡単にできます。

### シナリオ紹介文

イルカから依頼が来た。正確には、「イルカと話せる」と称する少女だ。希少な「水晶珊瑚」を乱獲する密猟者をこらしめてほしいのだそうだ。「フィ」と名乗る彼女は、話す言葉はカタコトで、紙幣ではなく古い金貨を持ち歩き、そして着ている服は古風で擦り切れている。なんだか怪しいが、報酬として提示された金貨は確かに本物だった。

### ディスクレーマー

本作はTRPG(テーブルトークロールプレイングゲーム)をGM(ゲームマスター)として遊ぶための「シナリオ」です。本作を読んでしまうと、このシナリオをプレイヤーとして遊ぶことが非常に困難になりますので、ご注意下さい。

本作は、Lord\_phantasm / 六畳間幻想空間 著「チェレステ色のパラディーズ」の非公式二次創作シナリオです。本作の作者は六畳間幻想空間とはなんら関係ありません。このため、ルールの理解違いや用語の違い、バランスミス等がある可能性があることをご承知おき下さい。世界設定や政治制度、法制度の設定、スキル名等には「チェレステ色のパラディーズ」とは異なるものや独自のものが含まれますが、これもこのシナリオ限りのものです。

作者は、本作を利用された場合に生じる損害などに関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。本作は「解説文」が含まれますが、作者はその内容の正確性を一切保証できかねます。

本作はフィクションです。登場する人物、航空機、国、法制度、名称等は架空のものであり、実在のものとは関係ありません。

# シナリオの読み方

欄外には、読まなくていい裏設定や補足説明、解説等を書いています。

イメージを膨らませるための資料であり、このシナリオを遊ぶ上で、この部分を読む必要はありません。

黒字で書かれている部分が、シナリオの本文です。GMとしてシナリオを進めるにあたって指針となる内容が書かれています（もちろん、プレイヤーたちの考えやPCの行動に従ってアドリブで変更を加えることは、推奨されます）。

グレーで書かれている部分が、シナリオ中に読み上げるテキストです。（もちろん、NPCのキャラクター性やロールプレイに応じてアドリブで変更を加えることは、強く推奨されます。）

## シナリオのあらすじ



### 1 ストーリー

環境保護関連の法制度：  
あくまで本シナリオ上の設定です。

環境保護が最も進んでいる西の大陸：

北の大陸の島国では公衆衛生の一環として公害防止の法制度ができていましたが、自然そのものを保護対象と見る法整備は西の大陸のみ見られます。

この時代のマリエッタでは、まだ環境保護関連の法制度が整備されていませんでした。観光産業が主力であるにも関わらず、その観光資源となる美しい自然を守るための法律がほとんどなかったのです。当時環境保護が最も進んでいた西の大陸では、野生生物の密猟・取引の禁止や「国立公園」の設置、さらには環境アセスメント法制の原型まで整備されていましたが、大戦後の独立から間もないマリエッタではそこまで手が回っていなかったのです。

その隙を突くのが密猟者たちです。マリエッタには希少な動植物が多く、人の往来が多いために密輸出も容易。そこで、食うに困った空賊などが近海で堂々と密猟を働くのです。唯一彼らを止めに入っているのは漁業ギルドで、業界団体としてギルドのクォータから外れた漁を規制しようとしていますが、相手は水上機や飛行艇で武装しているため、なかなかうまくいっていません。

そこで、契約飛行士のPCたちに、密猟者を止めるよう依頼が来ました。依頼人は「フィ」と名乗る謎の少女です。自分が「イルカと話せる」と称する彼女は「イルカたちからの依頼」として、ちかごろマリエッタ近海に出没する不審な双発機を撃墜するよう頼んできます。なんでも貴重な「水晶珊瑚」を根こそぎ取っていつてしまっているらしく、海の生き物たちが困っているそうなのです。彼ら「密猟者」をこらしめてくれたら、報酬を渡すと。取り出したのは古い金貨。怪しい話ですが、判定に成功すれば金貨が紛れもなく本物の純金であることがわかるでしょう。

PCたちが調査を進めると、目撃されている双発機が「コルセッティー一味」という空賊まがいのゴロツキたちのものだとわかります。しかし、近海で堂々と密猟を働いているにも関わらず、空軍は手出ししていません。環境法制がないため、「管轄外」なのです。

実は、コルセッティー一味を叩きのめすだけでは「根本的な解決」には至りません。密猟を封じ込めるには、西の大陸にならって環境保護法制を制定する必要があるのです。議員に働きかけることで、マリエッタ議会でも「マリエッタ野生生物保全法」の法制化の話が出ていることは確認できますが、産業利権や輸出利権からの賛同が得られておらず、議会日程に組み込んでいないということがわかります。

この法案を成立させるためには、マリエッタ市民の草の根レベルの支持が必要です。そのために、フィは「イルカたちにSOSを出してもらおう」ことを提案します。ブオノ・ビーチでイルカたちが並んで浮上して、身体で「SOS」マークを作ると。そこで環境派の議員が演説すれば、市民の間に支持が広がって、きっと法制化ができるでしょう。

首尾良くイルカSOSを成功させれば、あとは法律が制定され、発効するまでの間、密猟者どもを叩きのめせば良いということになります。最後にコルセッティー一味との空戦に勝利すれば、水晶珊瑚を守りきってのエンディングを迎えることができます。

水晶珊瑚：  
本シナリオ上の設定です。きれいな六角柱を形作る変わったサンゴです。



## 2 今回予告

地上の人たちが身に着ける宝石よりも  
海中で美しくきらびやかに輝く  
水晶のようなマリエッタの珊瑚。  
それを密猟する不埒者がいるらしい。  
法の網をくぐり抜ける密猟者、  
止めようと動いているのは、  
海のイルカたちだという。  
今回の依頼人は、イルカと話せる少女だ。

チェレステ色のパラディーズ  
「イルカ少女と珊瑚の海」  
海の宝石は誰のもの？  
ここは飛行艇乗り達の楽園

セッション開始前か募集時に、この「今回予告」を伝えて下さい。また、今回のクエストマップが「リゾートエリア」であることを伝えて下さい。その後、全参加者とPCの自己紹介を行ったら、挨拶をしてオープニングフェイズに移行します。



## 3 オープニングフェイズ

### ▼酒場にて

オープニングフェイズは、PCたちがマダム酒場「バンデルオーラ」に集まっているところに、依頼人がやってくる場所から始まります。

酒場「バンデルオーラ」は食事や酒も良いが、なんといっても眺望が良い。四方を海に囲まれた島にあるため、透き通るような青い海に珊瑚がきらめくのが、どのテーブル席からでも観られるのです。

そんなお店の別名はマダムの酒場。景色にも負けない美しさのマダムが、訪れる客たちを歓待してくれます。皆さんはここで食事するなり、お酒を飲むなり、おしゃべりするなり、ゲームを楽しむなりなんなりしているところだと思います。

契約飛行士である皆さんにとって、酒場は大事な拠点です。仕事の依頼はだいたい酒場に来るのです。依頼人らしき人が入ってきたら、飛行士たちは目ざとく見つけてアプローチをかけるもの。特に身なりの良い依頼人は取り合いになります。

### ▼イルカ少女登場

逆に、身なりが良くない依頼人は敬遠されがちです。ついさっき入ってきた少女は、まるで海から引き上げられたように擦り切れたジャケットとスカートを身に付けていて、青い目と白い肌ですがどこか異国の、というより異界の雰囲気があります。年若く見えるのに、服装は大戦前のように古めかしく見えます。リゾートエリアではまず見かけない格好です。

困り顔の依頼人は、やがて皆さんのテーブルにやって来て、懐から古びた革袋を取り出しました。

少女「あの、カチャトーレ（契約飛行士）、あなたたち？」

依頼人はアクセントの強いカタコトで切り出すと、革袋を開きます。中にはまばゆく輝く…金貨が入っていました。

少女「変な飛行艇、海に来てる。珊瑚、いっぱい取ってる。」  
少女「密猟だって。海の子たち、困ってる。イルカたち、困ってる。」

少女「だから依頼に来た。私、フィ。イルカと話せる。」  
フィ「密猟者、退治してくれたら、これあげる。」

と、なんだか怪しい雰囲気です。金貨の量を見ると相場通りの報酬にはなりそうですが、そもそもこの金貨、本物なのでしょうか。

ここで、チュートリアルを兼ねて「技術+感覚」で判定を行います。成功したPCがいれば、

手に取って調べてみましたが、金貨はすべて本物のようでした。しかし、刻印を見ると前世紀の古いものようです。アンティークコイン。目の前の少女よりもずっと古いものです。なお、価値は同量の純金と変わりません。

と情報を出します。

フィ「密猟者、見つけた、この辺。」

と、酒場の壁に架かっている海図上で、いくつかのポイントを指で示しています。いずれもマリエッタの近海です。

フィ「漁業ギルド、受けてないって言ってた。だから密猟。」

フィ「でも、飛行艇、密猟者たち持ってる。漁船じゃ勝てない。」

フィ「水晶珊瑚、きれい、みんな欲しがる。でも、珊瑚はいろんな海の子たちの家。サカナも海鳥も。」  
 フィ「イルカはサカナを食べる。ヒトもサカナを食べる。サンゴがなくなると、みんな困る。」  
 フィ「だから、お願い。」

▼波間の向こうへ

フィ「やってくれる、とても嬉しい。」  
 フィ「イルカも嬉しい。見て。」

フィは店から出ると、海岸に走っていきます。すると、イルカの群れが沿岸に現れて、大きく弧を描いてジャンプしています。

フィ「カチャトーレ、強い。お願い。」

そう言うとフィも大きなアーチを描いてジャンプして、岸壁から飛び降りてしまいました。ザブンと水音かして、それきりです。イルカたちが、沖合に移動しているのがヒレでわかります。

「水晶珊瑚」というのは観光用の名称で、正式な学名はもっと長ったらしいものだったはず。マリエッタ諸島は世界でも有数のサンゴ礁を持ち、希少な「水晶珊瑚」も採れるのでしょう。しかしフィの言う通り、無限にあるものではないですし、むやみに乱獲すれば景観を損ねるばかりか海の生態系に影響を与えます。

ちょっと依頼人の素性が不可思議ですが、ここで依頼を受けてもいいですし、受ける前に少し、情報収集してみても良いでしょう。

依頼を受けるか受けないかに関わらず、フィは姿を消します。その後オープニングフェイズを終了し、クエストフェイズに移行します。

摩訶不思議な依頼。得られたキーワードについて、情報収集をしてみましょう。

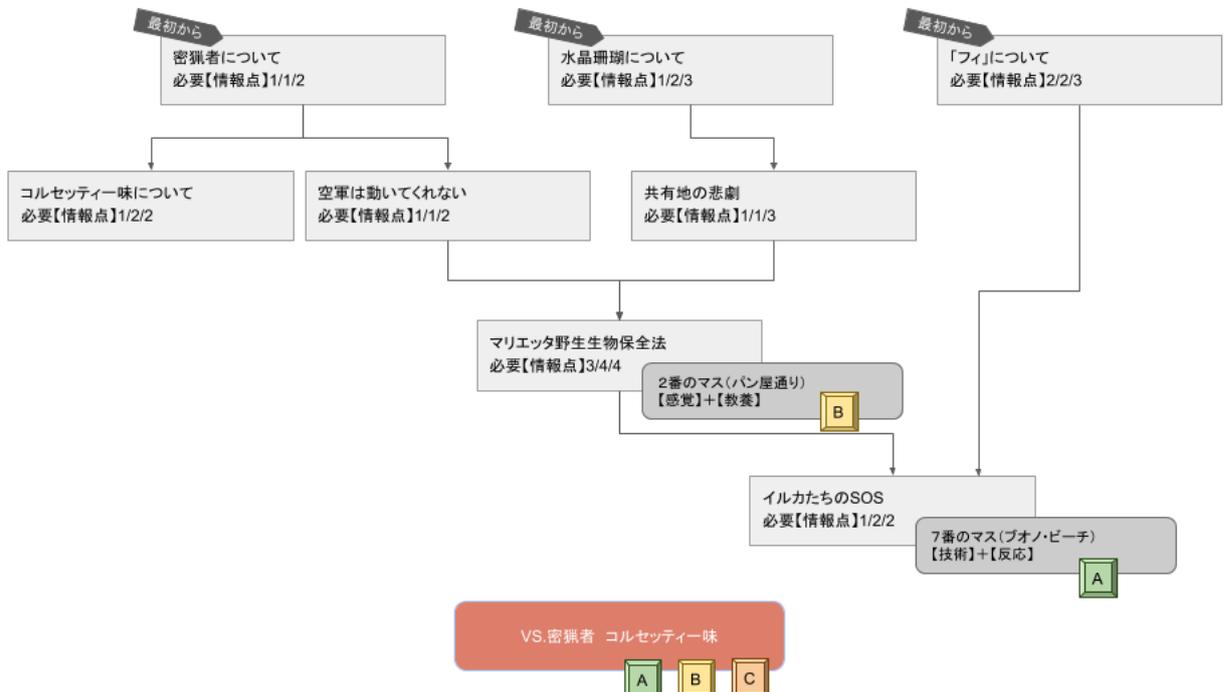
イルカたちが、沖合に：  
 実はフィ本人は岸壁に隠れているだけです。

# クエストフェイズ

## 4 クエストの構造

本シナリオのクエストカードは、右上のフローチャートの条件で出現していきます。付記してある必要【情報点】はPC人数に応じて変化します。それぞれ、3人用、4人用、5人用です。

灰色四角：クエストカード  
 灰色角丸：判定が必要なクエスト  
 赤色角丸：チェイスの内容  
 角緑四角：エンディング条件



# 5

## クエストフェイズ

今回のクエストフェイズは「3日目の夜」がリミットになります。3日目の夜が終了するか、プレイヤー全員が希望した段階で、チェイスフェイズに移行します。

クエストフェイズが始まったら、GMは以下の3つのクエストを公開して下さい。

- ・ 密猟者について
- ・ 水晶珊瑚について
- ・ 「フィ」について

なお、このシナリオではクエストカードがそこそこ多めに設定されていますが、すべてクリアする必要はありません。クリアした数が多ければ、エンディングが変化することがあります。

# 6

## クエストカード

ゲームバランスの関係上、本シナリオではPCの人数に応じてクエストの開示に求められる必要【情報点】が異なります。以下のように対応する人数を示しますので、該当するPC人数のクエストカードを使用するようにして下さい。

クエストカードの大部分は、別のクエストカードやマスターシーンを条件として公開します。条件が2つ以上ある場合、その両方を満たした段階で、クエストを公開して下さい。たとえば「水晶珊瑚について」の開示が条件となる場合、以下のように表示します。

- PC 3人
- PC 4人
- PC 5人

「水晶珊瑚について」クリア

- PC 3人

最初から公開

QUEST

クエストカード

水晶珊瑚について クエスト名

「水晶珊瑚」、正式には「Corallium vicus」は、北と南の大陸に挟まれたこの海に生育する希少なサンゴで、まるで水晶のように六角柱を張り出す構造からその名が付いた。水晶珊瑚が多い海域はダイビングの人気スポットでもあり、観光ガイドでもたびたび取り上げられるほど重要な観光資源だ。

だから、密猟の対象になることもあるのだろう。水晶珊瑚商品の流通を洗ってみよう。

必要情報点

1

クエスト概要

クエスト詳細

現在のマリエッタは、密猟品が容易に流通し、輸出されてしまう状況にある。土産物屋に並んでいる高額商品の「天然物水晶珊瑚」は出所不明のものがほとんどで、書類を整えて関税を支払えば輸出だって可能。密猟者が双発機を持っているなら、大陸まで飛んで行って密輸出してしまうこともできるだろう。

水産資源を保護したい漁業ギルドは密猟対策に手を焼いているものの、相手は空を飛べるため、成果が上がっていない現状だ。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST クエストカード

### 水晶珊瑚について

クエスト名

「水晶珊瑚」、正式には「Corallium vicus」は、北と南の大陸に挟まれたこの海に生育する希少なサンゴで、まるで水晶のように六角柱を張り出す構造からその名が付いた。水晶珊瑚が多い海域はダイビングの人気スポットでもあり、観光ガイドでもたびたび取り上げられるほど重要な観光資源だ。

必要情報点

2

だから、密猟の対象になることもあるのだろう。水晶珊瑚商品の流通を洗ってみよう。

クエスト概要

### クエスト詳細

現在のマリエッタは、密猟品が容易に流通し、輸出されてしまう状況にある。土産物屋に並んでいる高額商品の「天然物水晶珊瑚」は出所不明のものがほとんどで、書類を整えて関税を支払えば輸出だって可能。密猟者が双発機を持っているなら、大陸まで飛んで行って密輸出してしまうこともできるだろう。

水産資源を保護したい漁業ギルドは密猟対策に手を焼いているものの、相手は空を飛べるため、成果が上がっていない現状だ。

#### ペナルティ

なし

#### 解決場所

なし

#### 解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST クエストカード

### 水晶珊瑚について

クエスト名

「水晶珊瑚」、正式には「Corallium vicus」は、北と南の大陸に挟まれたこの海に生育する希少なサンゴで、まるで水晶のように六角柱を張り出す構造からその名が付いた。水晶珊瑚が多い海域はダイビングの人気スポットでもあり、観光ガイドでもたびたび取り上げられるほど重要な観光資源だ。

必要情報点

3

だから、密猟の対象になることもあるのだろう。水晶珊瑚商品の流通を洗ってみよう。

クエスト概要

### クエスト詳細

現在のマリエッタは、密猟品が容易に流通し、輸出されてしまう状況にある。土産物屋に並んでいる高額商品の「天然物水晶珊瑚」は出所不明のものがほとんどで、書類を整えて関税を支払えば輸出だって可能。密猟者が双発機を持っているなら、大陸まで飛んで行って密輸出してしまうこともできるだろう。

水産資源を保護したい漁業ギルドは密猟対策に手を焼いているものの、相手は空を飛べるため、成果が上がっていない現状だ。

#### ペナルティ

なし

#### 解決場所

なし

#### 解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST

### クエストカード

密猟者について

クエスト名

大胆にもマリエッタ近海で操業しているという密猟者。目撃情報も豊富にあるはずだ。双発の飛行艇を持つ空賊は少ない。飛行艇の機種が特定できれば、空賊の正体を掴めるかもしれない。

必要情報点

1

クエスト概要

#### クエスト詳細

密猟者は「空賊」ですらないゴロツキ集団「コルセッティー味」だった。「賊」でないというのはつまり、彼らは厳密に違法なことはやらない。詐欺【まがい】の高額商品を売りつけたり、違【法】ではない範囲でギルドのクォータ違反の密猟をしたり。

チンケな連中だが、彼らが傷つけているのはマリエッタの美しい海々のものだ。どうにかして止められないだろうか。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ全ての【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST

### クエストカード

密猟者について

クエスト名

大胆にもマリエッタ近海で操業しているという密猟者。目撃情報も豊富にあるはずだ。双発の飛行艇を持つ空賊は少ない。飛行艇の機種が特定できれば、空賊の正体を掴めるかもしれない。

必要情報点

2

クエスト概要

#### クエスト詳細

密猟者は「空賊」ですらないゴロツキ集団「コルセッティー味」だった。「賊」でないというのはつまり、彼らは厳密に違法なことはやらない。詐欺【まがい】の高額商品を売りつけたり、違【法】ではない範囲でギルドのクォータ違反の密猟をしたり。

チンケな連中だが、彼らが傷つけているのはマリエッタの美しい海々のものだ。どうにかして止められないだろうか。

ペナルティ

チェイスフェイズで登場するモブ全ての【練度】を+2する。

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST

### クエストカード

「フィ」について

クエスト名

イルカと話せると自称する少女「フィ」。言葉はカタコト、服装は古く擦り切れ、そして持ってきたのはアンティークコイン。いったい彼女は何者だろうか。どうして「イルカからの依頼」を持ってきたのだろうか。

必要情報点

2

クエスト概要

### クエスト詳細

「イルカと話す」少女の話、最初は信じる人も少なかったが、インパクトがあるため聞き込みを続ける中で噂が広まっていった。「事精通」の話では、実はイルカ少女は前にも現れたことがあるらしいという噂がある、らしい。正体は本物のイルカで人間に化けているのだが、イルカに育てられた人間だとか。それから、イルカが多い海域に、客船の沈没船があって金貨の山が残っている、とか。すべては人の噂だが、どこが真実が増してきたかもしれない。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

ペナルティ

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST

### クエストカード

「フィ」について

クエスト名

イルカと話せると自称する少女「フィ」。言葉はカタコト、服装は古く擦り切れ、そして持ってきたのはアンティークコイン。いったい彼女は何者だろうか。どうして「イルカからの依頼」を持ってきたのだろうか。

必要情報点

3

クエスト概要

### クエスト詳細

「イルカと話す」少女の話、最初は信じる人も少なかったが、インパクトがあるため聞き込みを続ける中で噂が広まっていった。「事精通」の話では、実はイルカ少女は前にも現れたことがあるらしいという噂がある、らしい。正体は本物のイルカで人間に化けているのだが、イルカに育てられた人間だとか。それから、イルカが多い海域に、客船の沈没船があって金貨の山が残っている、とか。すべては人の噂だが、どこが真実が増してきたかもしれない。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

ペナルティ

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST クエストカード

### クエスト名 コルセッティー一味について

コルセッティー一味は、S.66という双発型の飛行艇を中心に、護衛としてM.G.201が数機という構成のようだ。空賊たちからも「ビビリ」と呼ばれる連中だが、一度も捕まったことがないというだけあって機体性能はそれなりのようだ。空戦の前に、彼らの弱点を探ってみよう。

必要情報点

1

クエスト概要

### クエスト詳細

一味のリーダーは「ノルベルト・コルセッティ」。もともと弁護士事務所の助手をやっていたが、あまりに書類の間違いが多いので追い出されたりしい。スラムのゴロツキたちと一緒に結成した一味で、セコく稼いでいるようだ。

乗機のS.66は双発機の割に軽量でエンジン出力に余裕があり、しかも後部銃座付きと厄介な機体。その代わり装甲は皆無なので、銃座の死角からチマチマと攻めて、エネルギーを削ってから狩るのが良いだろう。

#### ペナルティ

チェイスフェイズで登場する「S.66」の【出力】【最大DP】を+1する。

#### 解決場所

なし

#### 解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST クエストカード

### クエスト名 コルセッティー一味について

コルセッティー一味は、S.66という双発型の飛行艇を中心に、護衛としてM.G.201が数機という構成のようだ。空賊たちからも「ビビリ」と呼ばれる連中だが、一度も捕まったことがないというだけあって機体性能はそれなりのようだ。空戦の前に、彼らの弱点を探ってみよう。

必要情報点

2

クエスト概要

### クエスト詳細

一味のリーダーは「ノルベルト・コルセッティ」。もともと弁護士事務所の助手をやっていたが、あまりに書類の間違いが多いので追い出されたりしい。スラムのゴロツキたちと一緒に結成した一味で、セコく稼いでいるようだ。

乗機のS.66は双発機の割に軽量でエンジン出力に余裕があり、しかも後部銃座付きと厄介な機体。その代わり装甲は皆無なので、銃座の死角からチマチマと攻めて、エネルギーを削ってから狩るのが良いだろう。

#### ペナルティ

チェイスフェイズで登場する「S.66」の【出力】【最大DP】を+1する。

#### 解決場所

なし

#### 解決方法

情報開示とともに解決する

## QUEST

### クエストカード

空軍は動いてくれない

クエスト名

コルセッティー味はマリエッタ近海で堂々と密猟をしているが、空軍は介入する余裕もない。密猟は漁業ギルドの領分で、「管轄が違う」からだ。

コルセッティー味だけを退治しても、また別の密猟者が現れるかもしれない。マリエッタの海を守るため、空軍の尻をひっぱたく方法を考えよう。

必要情報点

1

クエスト概要

### クエスト詳細

空軍に限らず、お役所というものは「前例」と、「海外事例」で動くものだ。「国立公園」で知られる西の大陸では、戦前から広く野生生物の密猟や密猟品の取引が禁じられるのみならず、近年では「魚類・野生生物調整法」が施行されており、サンゴ礁を含む水資源に影響するようなダム開発などのプロジェクトに農商務省が口出しできる体制ができています。

この事例にならい、マリエッタでも空軍のパトロールが密猟者を逮捕できるように「マリエッタ野生生物保全法」が提案されているものの、議会の日程には乗っていないようだ。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

PC 5人

「密猟者について」クリア

## QUEST

### クエストカード

空軍は動いてくれない

クエスト名

コルセッティー味はマリエッタ近海で堂々と密猟をしているが、空軍は介入する余裕もない。密猟は漁業ギルドの領分で、「管轄が違う」からだ。

コルセッティー味だけを退治しても、また別の密猟者が現れるかもしれない。マリエッタの海を守るため、空軍の尻をひっぱたく方法を考えよう。

必要情報点

2

クエスト概要

### クエスト詳細

空軍に限らず、お役所というものは「前例」と、「海外事例」で動くものだ。「国立公園」で知られる西の大陸では、戦前から広く野生生物の密猟や密猟品の取引が禁じられるのみならず、近年では「魚類・野生生物調整法」が施行されており、サンゴ礁を含む水資源に影響するようなダム開発などのプロジェクトに農商務省が口出しできる体制ができています。

この事例にならい、マリエッタでも空軍のパトロールが密猟者を逮捕できるように「マリエッタ野生生物保全法」が提案されているものの、議会の日程には乗っていないようだ。

ペナルティ

なし

解決場所

なし

解決方法

情報開示とともに解決する

10

## QUEST クエストカード

### 共有地の悲劇

クエスト名

経済学に「共有地の悲劇」という言葉がある。村の共有放牧場を作ったら皆が羊を放したため、牧草が食べ尽くされてしまうという。つまり、誰もが手を出せる共有資源は、管理して長く使うのが誰にとってもベストだが、個々人は共有資源を短期的に使い尽くしてしまったほうが得なため、結局皆が損をしてしまう。

必要情報点

1

「水晶珊瑚」もまさにその例だ。マリエッタの未来を支える貴重な観光資源を、密猟で損なってしまうのだから。共有地の悲劇を防ぐには、「公共」の介入が必要だ。

クエスト概要

## クエスト詳細

戦後に誕生した新興国家であるマリエッタでは、他の歴史ある国々と比べれば法制度が未発達な部分がある。環境保護もその一例で、法律は「自然を守ろう」というお題目レベルしかできておらず、強制力ある罰則や担当官庁までは整備されていない。マリエッタ全体にとって損になる「共有地の悲劇」を防ぐには各産業セクターの調整が必要だが、それが間に合っていないのだ。

マリエッタ議会では、特に観光利権を代表する議員たちが「マリエッタ野生生物保全法」の起草を進めているが、輸出を伸ばしたい産業利権から疑問視され、他の案件が優先されてしまっている。

## ペナルティ

なし

## 解決場所

なし

## 解決方法

情報開示とともに  
解決する

## QUEST クエストカード

### 共有地の悲劇

クエスト名

経済学に「共有地の悲劇」という言葉がある。村の共有放牧場を作ったら皆が羊を放したため、牧草が食べ尽くされてしまうという。つまり、誰もが手を出せる共有資源は、管理して長く使うのが誰にとってもベストだが、個々人は共有資源を短期的に使い尽くしてしまったほうが得なため、結局皆が損をしてしまう。

必要情報点

3

「水晶珊瑚」もまさにその例だ。マリエッタの未来を支える貴重な観光資源を、密猟で損なってしまうのだから。共有地の悲劇を防ぐには、「公共」の介入が必要だ。

クエスト概要

## クエスト詳細

戦後に誕生した新興国家であるマリエッタでは、他の歴史ある国々と比べれば法制度が未発達な部分がある。環境保護もその一例で、法律は「自然を守ろう」というお題目レベルしかできておらず、強制力ある罰則や担当官庁までは整備されていない。マリエッタ全体にとって損になる「共有地の悲劇」を防ぐには各産業セクターの調整が必要だが、それが間に合っていないのだ。

マリエッタ議会では、特に観光利権を代表する議員たちが「マリエッタ野生生物保全法」の起草を進めているが、輸出を伸ばしたい産業利権から疑問視され、他の案件が優先されてしまっている。

## ペナルティ

なし

## 解決場所

なし

## 解決方法

情報開示とともに  
解決する

## QUEST クエストカード

### クエスト名

## マリエッタ野生生物保全法

「水晶珊瑚」を恒久的に守るには、コルセッティー味のような輩に罰則を設けて、空軍が取り締まれるようにするために、「マリエッタ野生生物保全法」の制定が必要だ。

密猟の問題は現実には発生している。早く保全法が制定できるように、議員やロビイストなどに働きかけてみよう。

**必要情報点**

# 3

### クエスト概要

### クエスト詳細

ロビイングを受けて、観光産業族の議員たちが「保全法」を審議日程に入れるよう圧力をかけ始めた。北の大陸から来た保護団体「帝国野生生物連盟」の協力もあり、内容も精緻なものになった。

さあ、最後のひと押しだ。観光系のロビイストの手配で、パン屋通りのレストランで観光族のグレコ議員と産業族のノルシア議員が会食する際に、「密猟の実態を知る契約飛行士」が同席できる運びとなった。

**ペナルティ**

なし

**解決場所**

2番のマス（パン屋通り）

**解決方法**

【感覚】 + 【教養】の判定に成功する

## QUEST クエストカード

### クエスト名

## マリエッタ野生生物保全法

「水晶珊瑚」を恒久的に守るには、コルセッティー味のような輩に罰則を設けて、空軍が取り締まれるようにするために、「マリエッタ野生生物保全法」の制定が必要だ。

密猟の問題は現実には発生している。早く保全法が制定できるように、議員やロビイストなどに働きかけてみよう。

**必要情報点**

# 4

### クエスト概要

### クエスト詳細

ロビイングを受けて、観光産業族の議員たちが「保全法」を審議日程に入れるよう圧力をかけ始めた。北の大陸から来た保護団体「帝国野生生物連盟」の協力もあり、内容も精緻なものになった。

さあ、最後のひと押しだ。観光系のロビイストの手配で、パン屋通りのレストランで観光族のグレコ議員と産業族のノルシア議員が会食する際に、「密猟の実態を知る契約飛行士」が同席できる運びとなった。

**ペナルティ**

なし

**解決場所**

2番のマス（パン屋通り）

**解決方法**

【感覚】 + 【教養】の判定に成功する

## QUEST クエストカード

イルカたちの SOS

クエスト名

議会の重鎮は、保全法を議会の俎上に載せるには「市民の理解」が必要だと要求してきた。要は、環境保護が乗になることを示せということだ。

マリエッタ市民たちはそれぞれ日々の生活で忙しい。彼らに訴求するにはラジオを使いたいところだが、電波に乗るにはネタが必要だ。

必要情報点

1

サンゴ礁保護の必要性を訴える、何が良いパフォーマンスができませんだろうか？

クエスト概要

### クエスト詳細

フィは、イルカたちにお願いができるという。観光客が集まるアオノ・ビーチでイルカたちがパフォーマンスをすれば、きっと人々の注目が集まり、ラジオ局も関心を寄せるだろう。

グレコ議員が、「たまたまその場に居合わせる」手配も付いた。ビーチで人を集めたら、あとはフィとイルカたちの出番だ。

ペナルティ

なし

解決場所

7番のマス（アオノ・ビーチ）

解決方法

【技術】+【反応】の判定に成功する

## QUEST クエストカード

イルカたちの SOS

クエスト名

議会の重鎮は、保全法を議会の俎上に載せるには「市民の理解」が必要だと要求してきた。要は、環境保護が乗になることを示せということだ。

マリエッタ市民たちはそれぞれ日々の生活で忙しい。彼らに訴求するにはラジオを使いたいところだが、電波に乗るにはネタが必要だ。

必要情報点

2

サンゴ礁保護の必要性を訴える、何が良いパフォーマンスができませんだろうか？

クエスト概要

### クエスト詳細

フィは、イルカたちにお願いができるという。観光客が集まるアオノ・ビーチでイルカたちがパフォーマンスをすれば、きっと人々の注目が集まり、ラジオ局も関心を寄せるだろう。

グレコ議員が、「たまたまその場に居合わせる」手配も付いた。ビーチで人を集めたら、あとはフィとイルカたちの出番だ。

ペナルティ

なし

解決場所

7番のマス（アオノ・ビーチ）

解決方法

【技術】+【反応】の判定に成功する



## 7 マリエッタ野生生物保全法

「マリエッタ野生生物保全法」のクエストの判定に成功したら、以下のように産業族の議員が難色を示すイベントが発生します。

ジャンクヤードの連中：  
中にはバッテリー等の有害金属を回収している者もいるでしょうが、実はノルシア議員はそこまで詳しい事情を把握しないで語っています。

リゾートエリアとシティエリアのちょうど間にある商店街「パン屋通り」には、種類様々なパン屋が立ち並んでいます。庶民的な場所ですが景色も良く、白亜の町並みは目に鮮やかで散歩にピッタリです。商店街の奥には人気のビストロもあり、あなどれません。

その通りを少し外れたところにある隠れ家的なカフェテリアで待っていると、身なりの良い紳士が2人、入ってきました。ブローカーの話によれば、恰幅の良い方が観光族つまり保全法賛成派のグレコ議員で、筋肉質な方が産業族つまり保全法反対派のノルシア議員です。

グレコ議員「お待たせしました、やあー午前中の予算審議が長引いて。」

グレコ議員「ここのシュリンプは絶品なんですよ、ノルシアさん。」

しばし歓談した後、グレコ議員は本題を切り出します。

グレコ議員「……というわけで、このシュリンプも、生息地のサンゴ礁を守らなければいずれ採れなくなってしまうのです。」

グレコ議員「マリエッタの至宝である「水晶珊瑚」は、今まさに密猟によって破壊されつつある。こちらの契約飛行士さんがよくご存知だ。」

と、PCに話を振ります。プレイヤーがロールプレイしてくれたら、グレコ議員から適宜あいづちを打ちます。ノルシア議員は面白くなさそうに聞きます。それから、ノルシア議員からの反駁が来ます。

ノルシア議員「お話をありがとう。保全法はマリエッタにも『将来的に』必要になろう。けれど、今から審議日程に組み込むというのは難しい。今期に審議予定の法案は、『航空技術研究センター』や『官民一体自動車国産イニシアティブ』など重要なものが目白押しなのだ。」

グレコ議員「もちろん、そういった経済系の議案も重要です。しかし、今マリエッタの環境を守らなければ、産業の将来も危うくなりますよ。」

ノルシア議員「私はね、こういう環境保護系の話が出るたび、産業ばかりが叩かれるのが大変不愉快なんだ。」

ノルシア議員「アエル・マッカの工場が、有害金属の処理にどれだけ工程を割いているか知っているかね。」

ノルシア議員「それなのに、ジャンクヤードの連中は好き勝手に分解して、後は野となれ山となれだ。」

ノルシア議員「環境保護は、市民たち1人1人が理解して行動を変えなければうまくいかない、そういうものじゃないか。」

グレコ議員「理想論はそうかもしれないが、今は現実に進んでいる密猟を防ぐ話をしているんです。」

ノルシア議員「他にも議案は山程あるんだ。議会で優先させるべき状況にないという話をしている。」

ノルシア議員はレストランのウェイターを呼び止めます。

ノルシア議員「ちょっとキミ、すまないね。」とチップを渡しました。

ノルシア議員「レイシー法と聞いて、何の話かわかるかな？」

ウェイター「法律！？申し訳ございません閣下、私はそんな難しい話にはうとく……。」

ノルシア議員「これは失礼。では簡単な話をしよう。キミは、マリエッタ近海でサンゴが減ると、どんな影響が出るかわかるかな？」

ウェイター「サンゴが減ると、ですか。その、たとえば、ダイビングの見どころが減るとか……。」

ノルシア議員「それから、サンゴと共生関係にあったり棲家にしていたりする魚類が、いわば生息地を失う。さらに、サンゴには消波効果があるから、ビーチの波が強くなるかもしれない。」

ノルシア議員「ああ、仕事にすまないね。参考になったよ、ありがとう。」

ノルシア議員「この通りだよ、保全法の理念はマリエッタの市民たちに浸透しているとは言い難い。」

ノルシア議員「そんな状態で政府だけ先走ることが、はたして良いことなのだろうか。」

ノルシア議員「私は、民主政治は民意を反映するものではないと考えている。」

グレコ議員「つまり、市民たちから、水晶珊瑚の保護が必要だと声を上げてもらえれば良いということですね。」

ノルシア議員「もし民意がそう言っているのであれば、当然、議会日程にも反映されるべきだ。」

レイシー法：  
1900年に米国で精成立した、野生動植物の密猟のみならず取引を禁止する画期的な法律です。レイシー法と呼ばれているのは、国立公園をはじめとする米国の環境保護法制に尽力したジョン・F・レイシー下院議員の名前からです。

民主政治は民意を反映するものでなければならない：  
言外に、集票が見込めるならば賛成できる、と妥協点を伝えています。

会食の後で、グレコ議員はPCたちを呼び止めます。

グレコ議員「わざわざ来てもらったのにすみません。やはりノルシア議員ら産業族を説得するには、『有権者の声』というものが必要なようです。」

グレコ議員「市民の支持を集めるために、何かできないでしょうか。パフォーマンスとか。」

と、グレコ議員は困り顔です。



## 8 フィ

「イルカたちの SOS」のクエストで、情報点を使ってクエストを公開したら、以下のようにフィがパフォーマンスを提案するイベントが発生します。

フィ「フィ、わかった。サンゴを守る、ヒトたちにわかってもらう。」

フィ「フィ、イルカ呼ぶ。イルカ、文字を作る。」

フィ「イルカ、海にしか行けない。浜辺、ヒトが集まる、どこ？」

フィ「ヒト集めてくれたら、そこでイルカたち、フィがお願いする。」

フィ「どう？」

ということで、フィから「浜辺でイルカが文字を作る」パフォーマンスを提案されました。



## 9 イルカたちの SOS

「イルカたちの SOS」のクエストの判定に成功したら、以下のようにパフォーマンスのイベントが発生します。

皆さんの手配で、ブオノ・ビーチには観光客やマリエッタ市民など、それなりの人数が集まっています。

海水浴をしている観光客などいますが、沖合の方でざわめきが起こり、次々海から上がってきました。海上にはヒレが。サメ？いえ、イルカです。

ビーチ付近にイルカが集まってきたということで、さらに遠くからも人々が集まってきます。そこで、人混みの中からフィが姿を現します。

フィが手を上げて、何かを海に放り投げて大きな高い高い声を出すと、なんとイルカたちが浮上してきました。そして、きれいな列に並んでいきます。

イルカたちの身体でできた文字はまぎれもなく「SOS」。観ている人々は大騒ぎです。

フィ「サンゴ、取らないで。イルカ、お願い。」

フィの言葉は騒ぎにかき消されましたが、そこに拡声器を持ったグレコ議員が登場します。

グレコ議員「お聞きになりましたか皆さん！これは、クジラたちから私たちマリエッタ市民に対する、切なる願いです。」

グレコ議員「今まさに、密猟者どもがマリエッタの美しい海を荒らし回り、水晶珊瑚を乱獲しています。イルカたちは私たちに、海を守るように願っているのです。」

グレコ議員「マリエッタ議会でも、この美しい自然を守るための法律を作ろうという話が出ております。どうか皆様、ご賛同の声を下さい！」

市民や観光客たちはグレコ議員を胡乱げな顔で見ているのですが、隣にいるフィが

フィ「イルカ、サンゴ、守って、お願い。」

と繰り返し話しているため、徐々に同調する声広がっていきます。「あれがイルカと話せるって子なのか！」と。

ひとしきりパフォーマンスを追えたら、グレコ議員は車で、フィは海の中へと、消えていきました。

この一連のできごとは、若干尾ひれを付けて夜のラジオでも取り上げられることになります。

グレコ議員「手配を頂いて、大変ありがとうございました。これで、保全法の審議入りは間違いありません！」

グレコ議員からはお礼として、うんと高い大陸産のワインが皆さんの手元に届けられました。

グレコ議員「ここからは我々政治屋の仕事です。きっと、イルカたちも喜んでいてことでしょう。」

うんと高い大陸産のワイン：

グレコ議員から直接何か依頼したわけではないので、選挙法違反にならないようにするためにも、金銭のやり取りは避けたいという意向です。

# チェイスフェイズ



## 10 チェイスフェイズ

3日目の夜フェイズが終了するか、全プレイヤーが希望した段階で、チェイスフェイズに入ります。

まず、以下の描写をして下さい。

皆さんは、密猟者を叩きのめすべく、目撃情報のあった海域にやって来ました。有名ダイビングスポットというだけあって、サンゴやイソギンチャク、そして色とりどりの魚たちが泳ぎ回る幻想的な情景が広がっています。

しかし遠くの方まで見渡すと、小さな機影が見えます。エンジン音もする気がします。空軍のテリトリーで大胆に飛んでいるのはいったい誰でしょうか。

見ると、小型の飛行艇に何やら網にかかったものを運び入れているところのようで、上空には護衛機が旋回しています。そのまま放っておけば、北の大陸に密輸出してしまうことでしょうか！

コルセッティ「な、なんだお前ら！契約飛行士か！」

コルセッティ「何か文句でもあるのか！俺たちはただ漁をしているだけだぞ！」

コルセッティ「なあんも『違法』なことはねえ。わかったら、空賊どもと遊んでな。」

コルセッティ「人を襲ってるわけでもないし、人の物を盗んでるわけでもない。俺たち職なしが、こうせせこましく漁業で我慢してるんだから、これくらい見逃してくれよ。」

「イルカたちのSOS」までクリアしているなら、コルセッティに「保全法」が制定されそうなことを教えてやることもできるでしょう。

コルセッティは、『違法』でないからと高をくくって、悪びれもせずに挑発的な態度を取っています。しかし、あと数ヶ月もすれば「保全法」は施行され、彼のビジネスは成り立たなくなるでしょう。

それまでの数ヶ月の間は、空戦でもって密猟者を叩き伏せましょう。

コルセッティ「規制だって！？ちくしょう、どこの誰だか知らねえが余計なことをしやがって。」

コルセッティ「こうなったら、手元の在庫分だけでもとっと売り払わねえとな。規制がかかる『直前』が、一番相場が上がるんだよ。」

PCたちに密猟のことを追求されたら、コルセッティは怒って攻撃してきます。

コルセッティ「こうなったら痛い目に合わすしかねえ。野郎ども、やっちまえ！」

敵機は、「データセクション」にある「S.66」、[PC人数-1]機のモブ「コルセッティ一味 護衛機」です。S.66は離水したばかりなので、プロットは必ず低空です。

このチェイスフェイズの勝利条件は、

「敵機の全滅」

このチェイスフェイズの敗北条件は、

「PCの全滅」

以上を伝えたら、チェイスフェイズを開始して下さい。

### NPCのルーチン

**コルセッティ機**：必ず低空にプロットし、中空から高空を志向、PCの撃墜を狙う。射撃判定できるときは射撃。できないときは機動判定>射撃、それもできなければ下降>射撃。無理に機動せず後部銃座で攻撃を行う

**モブ**：中空から高空を志向、PCの撃墜を狙う。射撃判定できるときは射撃。できないときは機動判定>射撃、それもできなければ下降>射撃。

## チェイスフェイズで勝利

空戦の末、コルセッティー味をすべて海面に叩き落とすことができました。

コルセッティ「ちくしょう、なんて強さだ！」

コルセッティ「お、俺たちを逮捕することはできないはずだぞ。懲役刑があるような商売はやってないはずだ。」

コルセッティ「くそっ、機体がボロボロじゃねえか。これじゃあ商売上がったらずい。」

## チェイスフェイズで敗北

空戦の末、残念ながらコルセッティー味を取り逃がしてしまいました

コルセッティ「はっはぁー！俺たちの腕前も捨てたもんじゃないな。」

コルセッティ「よーし野郎ども、『漁果』を持って、ずらかるぞ。」

コルセッティ「くっくっく、これだけ採れりゃあ修理代を差し引いてもボロ儲けだぜ！」

「イルカたちの SOS」までクリアしているなら、コルセッティー味の天下も長続きしないことがわかります。

コルセッティ「『保全法』が施行されるまでに、できるだけ稼がなきゃなあ。」

コルセッティ「その後は、稼ぎを元手に別の商売だ。なあに、法律には抜け穴ってもんがあるんだよ！」

コルセッティ「最後に物を言うのは空戦の武力ってこった。あばよ、契約飛行士諸君！」

コルセッティはまだまだ密猟を続けるつもりようです。少なくとも保全法の施行までは、この連中とのイタチごっこは続くことでしょう。

# 11

## エンディングフェイズ

チェイスフェイズの後は、エンディングフェイズの内容はプレイヤーと共同で作っていきます。目安として使えるような描写を以下に用意してあります。GM は、ロールプレイの内容に応じて描写を変えることを強く推奨します。

### エンディング C 「マリエッタ野生生物保全法」 未完了

コルセッティー味はボロボロの機体で、救助を待つようです。これでしばらくは悪事を働くことはできないでしょう。

「契約飛行士に珊瑚を守る依頼が出た」となれば、今後は密猟者たちも動きにくくなるはずです。

さて、酒場に戻れば、フィが歓待してくれます。

フィ「やっつけた、密猟者？すごい、すごい。」

フィ「サンゴ、これで大丈夫！」

フィ「イルカたちも、喜ぶ、きっと。」

### エンディング B 「マリエッタ野生生物保全法」 クエスト判定完了

コルセッティー味はボロボロの機体で、救助を待つようです。これでしばらくは悪事を働くことはできないでしょう。まだしばらくは密猟者との戦いは続くでしょうが、「保全法」ができるまでの辛抱です。

さて、酒場に戻ると、フィとグレコ議員が話しています。

グレコ議員「密猟者退治、ご苦労さんです。マリエッタの貴重な自然、その大切さがわからない者もいるでしょう。」

フィ「やっつけた、密猟者？すごい、すごい！」

フィ「サンゴ、これで大丈夫？」

グレコ議員「しばらくは、けれど、『法』ができなければ根本的な解決にはならないでしょう。」

グレコ議員「そのためには、市民の方々からの理解が必要です。」

グレコ議員「フィさんは『イルカと話せる』のでしょう？彼女の協力があれば、早期に議会日程に組み込める可能性があります。」

フィ「フィ、イルカ、手伝う。」

フィ「サンゴ、大事、わかってもらう。」

## エンディング A 「イルカたちの SOS」 クエスト判定完了

コルセッティ一味はボロボロの機体で、救助を待つようです。彼らが機体を修理して漁場に戻ってくる頃には、密猟は違法化されていることでしょう。

コルセッティ「ここまでボロボロじゃあ、今から修理したって、『保全法』に間に合わねえ。なんてことをしてくれたんだー！」

コルセッティ「また別の商売を探すしかないか。トホホホ……。」

さて、酒場に戻れば、フィが歓待してくれます。

フィ「やっつけた、密猟者？すごい、すごい。」

フィ「法律、できる。サンゴ、これでもう大丈夫！」

フィ「フィ嬉しい、陸のヒトたち、わかってくれた。」

フィ「イルカたちも、喜ぶ。とっても。」

## 全ルート共通

フィは金貨が入った袋を差し出します。

フィ「お礼、イルカも。」

それから、また酒場の外に出て、前にイルカがいた浜辺まで歩いていきます。

フィを追いかけると、両手を上げて立っていて、その眼下にはイルカたちが集まってきています。フィが大きく手を叩くと、イルカたちがいっせいにジャンプしました。

クルクルとバックスピンをするものや、尾びれでテールキックをするものもいます。

それから海に潜って、一列に並んだかと思うと、ぐるりぐるりと大きな輪を描いて泳ぎはじめます。後ろを向いたフィは、きれいな姿勢でダイビングして、輪の中央に飛び込んで行きました。

イルカたちはぐるりと一回転してヒレを打ち付け、大きな音と波しぶきを立てます。それを何回か繰り返すうち、簡単なリズムを奏できるようになります。

やがてダンスが終わると、最後にひときわ大きなイルカが海中から姿を現し、その背ビレにはフィが掴まっています。

フィ「ありがとう、助けてくれて。」

フィ「ばいばい！」

そう言うと、イルカたちの群れは沖合いまで泳ぎ去って行きました。

# データセクション



## 19 NPC と乗機

以下に、主要な NPC のデータと、乗機のデータを記載します。

[ ] の中にはその NPC の「異名」を、欄外には運用の指針等を記します。

### 帝国野生生物連盟

“イルカ少女”				
フィン・フレッチャー (28)				
【技術】	8	【感覚】	10	【反応】 3 【教養】 2
透き通るような青い目と白い肌をした少女。イルカと話ができると自称しています。不思議と動物に懐かれるタイプで、仲の良いイルカなら声でお願いをすることもできます。				
実は、大帝国の帝国野生生物連盟がスポンサーに付いています。擦り切れた服や金貨もスポンサーから支給されたもので、観光資源に目ざといマリエッタ市民を味方に付けるための「ストーリー」を作るために仕組んだものです。				
出身は東の異教の国で、難民として北の大陸の大帝国にやってきて、サーカスの調教師として生計を立てていました。訓練の能力が極めて高いことから帝国南部動物園にスカウトされ、様々な動物を担当する中で特にイルカと相性が良いことがわかります。彼女とイルカたちは「ウマが合う」らしく、少しの訓練でパフォーマンスを仕込むことができます。				
やがて、園長の紹介で帝国野生生物連盟に入会、マリエッタに派遣されることになりました。				
華奢な体格と容姿は、成長期に栄養状態が悪かったためのものです。				

### マリエッタ議会

”釣り大公”				
ジャン・グレコ (58)				
【技術】	4	【感覚】	3	【反応】 4 【教養】 8
マリエッタ議会で漁業利権や観光利権を代表する議員の1人です。ふくよかな体格で、いつもオー・デ・コロンを付けています。北の大陸から観光に来た要人を接待することが多く、マリエッタの高級レストランをメニューからシェフ、材料まで知り尽くしています。				
趣味の釣りの腕前はピカイチで、フィッシングコンペで優勝経験があるほど。じっくり泰然と釣り竿を振ります。				

”マホガニーのパイプ”				
ダミアノ・ディ・ノルシア (58)				
【技術】	3	【感覚】	2	【反応】 2 【教養】 9
マリエッタ議会で産業利権や輸出利権を代表する議員の1人です。筋肉質な体格で、スーツではなく作業着で現場を視察することもしばしば。特に空軍や航空機産業とのパイプが太く、大陸の国々に議員セールスに出向くこともしばしば。ミドルクラス出身でありながら4ヶ国語を操る多才な人物です。				
マリエッタの工業化を強く推進してきた人物で、「環境保護」なるものは西の大陸の世迷い言だと言ってはばかりません。				

## コルセッティー味

“ビビリの”

ノルベルト・コルセッティ (42)

【技術】	8	【感覚】	6	【反応】	5	【教養】	7
------	---	------	---	------	---	------	---

空賊団「コルセッティー味」のボスで、一度もブタ箱に入ることがないのが自慢です。その秘密は「ギリギリ法に触れないグレーゾーンで稼ぐこと」。元パラリーガル出身だからか法律にやたらに詳しく、観光客を騙して高額商品を売りつけたり野生生物を密猟したりとセコい悪さをします。

意外に部下思いで、親戚の冠婚葬祭や傷病には手当を付けたりします。

S.66 S・マルケッティ社

攻撃力	5	機動力	3	視認性	2	出力	10
☆アシマワリ	高信頼性エンジン	「エンジン」部位のダメージチェックボックスを1増やす					
☆ツバサ	鋼板装甲	全「主翼」部位のダメージチェックボックスを1増やす					
☆コックピット	頼れる後部銃座	1チェイス3回、後ろに配置されたキャラクターに「●射撃」を攻撃力3で行える					

西の大陸の双発飛行艇メーカーであるマルケッティ社が製造した機体で、上部にエンジンを持つ特徴的な形状をしています。双発機としては軽量で、カタパルト付きの艦船に搭載して運用することができます。

コルセッティー味では主に輸送機として運用していますが、固定翼の7.7mm機銃に加え後部に旋回タレットを備えており、武装は侮れません。

コルセッティー味 護衛機

練度	11	攻撃力	3	イニシアチブ	14		
射撃判定	2	回避判定	2	機動判定	2	対抗判定	2

食うに困って空賊稼業を始めたゴロツキたちです。コルセッティに影響されてか慎重というより臆病な性向で、法律ギリギリ合法的なラインで活動することを旨とします。



## 双発機対応

2019年11月発売のサプリ「トリコロール・トリップ」をお持ちの方は、以下のデータを使って一部のNPCの機体を「双発型アーキタイプ」のものに変更することができます。

攻撃力	6	機動力	2	視認性	3	出力	12
アーキタイプ	双発型アーキタイプ						
☆アシマワリ	高高度離脱	「高空」レーンからDP10点でチェイスシート外に出られる。					
☆ツバサ	ダメージコントロール	1チェイス3回 DPを5点消費、「●射撃」不可 【技術】+【教養】判定に成功したらダメージチェックを1つ外す					
☆コックピット	脅威の後部銃座	1チェイス3回、自分より後ろに配置されたキャラクターに「●射撃」を攻撃力3で行える					

西の大陸の双発飛行艇メーカーであるマルケッティ社が製造した機体で、上部にエンジンを持つ特徴的な形状をしています。双発機としては軽量で、カタパルト付きの艦船に搭載して運用することができます。

コルセッティー味では主に輸送機として運用していますが、固定翼の7.7mm機銃に加え後部に旋回タレットを備えており、武装は侮れません。

